

江 工 会 会 報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

「卒業生会館（江工会館）」について

会長 土井 正人
(工業化学科 昭和三十九年卒業)



皆様、ご健勝のことと思いますが、1年間いかがでしたでしょうか。今、令和7年度「学校要覧」を改めて開いております。表紙をめくると校歌が楽譜付きで出てきます。

津高校と合併した新しい学校が誕生します。令和12年3月をもって工業高校は終了となります。さて本題になります。

卒業生の思いを込めた卒業生会館（江工会館）が開校50年の昭和59年10月15日に多くの卒業生の皆様の浄財により建設竣工致しました。

早や40年が経過し老朽化が激しくなり雨漏りや破損など色々修繕を要する箇所が出てきております。

1. ページは校章の由来と目次 2. 学校概要 3. 生徒の状況 4. 外郭団体 5. 施設設備の概要 などとなつて2ページで沿革が記されています。

そこで先般建設会社によりリニューアルを行った場合の見積もりをお願いしました。

それによると前身校は明治35年4月の蚕業講習所から始まって昭和9年4月に県立江津工業学校開校とあり、これをもって工業高校の始まりとして昨年90周年を終えました。

その結果 1, 屋根替えと防水、雨どいの改修などで968万円 2, ①に加え外壁改修、全室内壁、床のクロス替え、

照明のLED化、全室内エアコン設置で4785万円 3, 更に食堂、炊事場の改修と浴室改修（男、女別）などを行った場合5965万円が提示されました。

これについてどうすべきか今協議を重ねておりますが、一つは新学校となった場合このままの状態を置いておくのか改修を行うとしたら財源はどうするのか。（県の方は全く当てにできません）



卒業生の皆様の知恵をお借りしなければなりません。どなたか4〜5千万円出してくれる方いませんか（笑）

工業高校閉校と新設校開校に当たり卒業生会としてどう対処すべきか思案致しております。それでは皆様の増々のご健勝をお祈りしております。

「人材育成の取り組み」
校長 楫野 哲央
(機械科 昭和六十二年卒業)



江工会会員の皆様には、平素から当校の教育活動に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年（令和6年度）の数字になりますが、文部科学省のホームページによりまずと日本における高等学校学科別生

徒数の割合は普通科74.1%、工業科6.9%となつており、普通科志向が強い傾向です。この傾向に違わず当校の定員充足率も50%付近を推移しております。地域社会を維持していくためには、地域を支える人材の育成は喫緊の課題であり、子どもさんに「工業」に関心をもつていただく必要があります。当校では年間を通して、多数の地域イベントへの出席を実施し、「工業」の魅力を伝える活動に取り組んでおります。

このことに関連して、特筆すべき今年の取り組みとして、「NPO法人てごねつと石見」主催、「島根県公共建築品質確保推進協議会」・「江津市」共催、「島根県教育委員会」・「江津市教育委員会」後援による「おしごと体験イベント2025」を「パレットこうつ」と当校において、10月18日（土）に盛大に開催いたしました。当校会場では、多くの企業の皆様にご協力をいただき、「建築」、「電気」、「塗装」等の工業系のおしごとを子どもさんに体験していただきました。当校の生徒も企業

様ブースでのボランティヤや当校ブース(バーチャル溶接、木工、家電分解、アクリルスタンド製作他)での運営担当として多数参加いたしました。グラウンドでは重機での掘削、高所作業車への搭乗、体育館では電気工事や塗装工事といった数多くの体験メニューが提供され、体験をしている子どもさんからはたくさん笑顔を見ることができました。また、電気棟前ではアスファルト舗装の実演もあり、子どもさんだけでなく、当校の生徒にとりましても貴重な見学の機会となりました。更には、「島根県建築士会」の「建築文化祭」も併催され、建築に関係するワークショップをたくさん子どもさんが楽しんでおられました。尚、当日、ご協力をいただいた企業の皆様の中には、当校の卒業生の皆様もたくさんおられ、大変に心強く感じました。



業」を体験していただく機会を提供しつづけたと感じました。簡単ですが、当校の人材育成の取り組みの一部についてご紹介させていただきました。

結びに、江工会会員の皆様方のご活躍とご健康をお祈り申し上げますとともに、当校への引き続きのご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

昨年、おしごと体験やワークショップに夢中で取り組む子どもの方々の様子を拝見し、地域を支える人材を育成していくために今後とも「工

業」を体験していただく機会を提供しつづけたと感じました。簡単ですが、当校の人材育成の取り組みの一部についてご紹介させていただきました。

結びに、江工会会員の皆様方のご活躍とご健康をお祈り申し上げますとともに、当校への引き続きのご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

「江工高と江津高の統合の進捗は？」
 副会長 岡 本 正 友
 (建築科 昭和四十六年卒業)

昨年、おしごと体験やワークショップに夢中で取り組む子どもの方々の様子を拝見し、地域を支える人材を育成していくために今後とも「工

業」を体験していただく機会を提供しつづけたと感じました。簡単ですが、当校の人材育成の取り組みの一部についてご紹介させていただきました。

結びに、江工会会員の皆様方のご活躍とご健康をお祈り申し上げますとともに、当校への引き続きのご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

昨年、おしごと体験やワークショップに夢中で取り組む子どもの方々の様子を拝見し、地域を支える人材を育成していくために今後とも「工

われた皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、鳥根県教育委員会が再来年を目的に江津高校との統合を正式決定したことは、皆様周知のとおりです。新設校は現江津工業高校の場所で開催される予定で、地元和木町に住んでいる私は、これからもいつでも立ち寄ることができ思い出深い学び舎は、何ら変わらない姿のままそこにあります。同じ釜の飯を食べてきた同窓生は今、どこで何をしているのか？当時のことを思い出しては、いつもタイムスリップしてしまいます。

そのような中、バスケットボール部の先輩でもある山崎ていじ兄貴と、ここ数年来、交流をもつ機会を得ることができました。中学校から続けているバスケットボール部に入学させてもらい、ていじ兄貴と一緒に汗と煙に（笑）まみれていたことは懐かしい青春の思い出です。

兄貴はその当時から背が高く部活の中では一、二を争う名プレーヤーだったと記憶しています。その兄貴が、今では押しも押されぬ日本コ

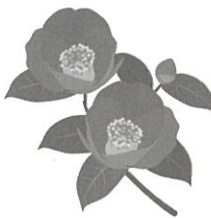
ロンビアの大物歌手になり、今年歌手生活30周年を迎えられることは私にとつての誇りでもあります。

又、兄貴は地元でのステージでは必ず「江津工業高校」という言葉とともに高校時代の思い出を話されます。そのことがとてもうれしくて、これからも母校愛にあふれる兄貴を応援し交流を続けていきたいと思っています。

現在、江津工業高校では、「ものじゃない、なりたい自分をつくるんだ！」のテーマを掲げ、統合に向けて入学したいと思うような高校づくりの準備を始めています。

将来の目標をしっかりと持った若者が新設校に入学し、その夢を実現し、地域で、全国で、世界で活躍してくれることを期待しています。

結びに、皆様方のご健康と「丙午」にあやかり、躍動し勢いのある年になりますよう祈念いたします。



「新年のごあいさつ」

副会長・桜江支部

藤田

厚

(電気科 昭和四十三年卒業)



令和8年明けましておめでとうございます。全国各

地で、ご活躍の江工会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、私たちが江津工業高校を卒業して早、58年が過ぎ私達も喜寿を迎える節目の年であり、また、恩師の森脇先生も米寿をお迎えになるということで、おめでたい年が重なるので、同窓会を企画し、行いました。当日は、81名卒業のうち20名の参加があり、青春時代を共に過ごした皆様と懐かしい思い出話に花が咲き、素晴らしい時間を過ごすことができました。そして最後にはやはり校歌や応援歌を歌って、記念写真を撮り、短い時間ではありましたが楽しい同窓会でありました。

さて、全国的に少子化が進み、全国各地で学校の統廃合など存続が危ぶまれています。我が江津工業も、令和10年度から江津高校との統合が決まり、90年の伝統ある江津工業高校に終止符を打つことになり、寂しくもあり、とても残念な気持ちです。

同窓会の中でも統合に関して色々な話が出てきています。いづれにしても、工業高校と普通科高校の統合には様々な

課題や困難があると思います。が、新学校においては魅力的な学校環境・運営そして生徒たちにとってより良い教育環境が望まれます。その為にも、我々卒業生も関心を持って見守り続け、また、意見具申も必要ではないかと考えます。どうか、卒業生の皆様関心を持って見守り続けて頂きたいと思えます。

皆様方のご健勝をお祈りいたします。

江工会支部だより

関東支部

「江工会の再会と母校の統合について」

関東支部 黒川 満

(機械科 平成五年卒業)



江工会員の皆様、新春をお健やかに迎えることと

お喜び申し上げます。

江工会関東支部は千代延支部長のもと、2名の副支部長、幹事5名の役員により活動を実施しております。

江工会との再会ですが、平成5年に卒業後、株式会社日立製作所に就職し関西支社に営業職として配属。

平成19年に本社（東京）に転勤となりました。令和6年に関東江津会に出席をした際、江工会OBの方との出会いがあり、江工会の参加依頼を受け、入会を致しました。

江工会関東支部に初参加をさせて頂き、諸先輩方が故郷鳥根から遠く離れた関東地区で活躍をされている事に改めて感銘、刺激を受けており

ます。

近年におきましては、令和2年の新型コロナウイルスでは緊急事態宣言で在宅勤務を余儀なくされましたが、逆にリモートワークで業務遂行が成り立つという事が証明されました。更には生成AIの技術も急速に進化しており、ビジネスや日常生活において重要な役割を果たしています。

令和10年に江津工業高等学校、江津高等学校との統合が決定しており、1学年3学級で新たにスタートされると聞いております。

急速に発展するIT、OT、プロダクト、ロボット制御等の先端技術に触れ合いながらカリキュラムを導入していく事も想定されており、更なる将来を見据えた教育が期待されております。

統合により新たな形で生まれ変わる母校になりますが、地域、社会の発展に貢献し、且つ、グローバルに羽ばたけるより多くの優れた人財を輩出し続ける事を心より祈念しております。

関西支部

「節目の年」

支部長 中 上 清 之

(建築科 昭和五十一年卒業)



新年おめで
とうございま
す。

江工会員

の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年関西支部は69回目の総会を開催することができました。出席される会員数はコロナ禍以降減少傾向ではありますが、それでも40名近い方々の参加があり、皆さんに全身で楽しんでいただき、笑顔いっぱい総会となりました。

本総会には、昭和30年卒業の保田栄昭先輩と斉藤勝俊先輩が何年振りかにご参加いただきました。一昨年には米寿を迎えられました、まだまだお元氣な姿に後輩の皆さんも元氣をいただいたものと思えます。お二人には、1年遅れにはなりましたが、関西支部より米寿のお祝をさせていただきました。お元氣なうちは、毎年でもご参加いただきたい

ですね。

また、昭和35年工業化学科卒の、荒木睦男先輩と横田栄先輩は、自費製作された『工業化学科第六期生』の旗を、壇上に掲げて記念撮影。お二人は総会が唯一の楽しみだと、毎年欠かさず参加していただいております。

今年も元氣にお越しくささいね！

関西支部は今年の6月6日(土)に70回目の節目の総会を迎えることになっていきます。70年前の昭和31年には、イタリアのコレティナで冬季オリンピックが開催されています。この冬季オリンピックでは日本人が初めてメダルを獲得したそうです。今年は、このイタリアのコレティナで、再び冬季オリンピックが開催されることになっていきます。日本人選手に期待しましょう。頑張れ日本！

また、今年は江津の都治神楽社中をお招きして、盛大な総会にしたいと思っております。当社中は、第60回の総会にもお招きしたご縁で、今年もお願ひしたところ、快く出演いただくことになりました。

何頭の大蛇が登場するのか大変楽しみです。

そして、懇親会のトリは、山崎ていじが登場予定です。

今年、デビュー30周年の節目の年になりますので、昨年末には30周年の記念の新曲をレコーディングしております。

今年のファイナレは例年よりもきつと盛り上がることに違いないありません。

そして、節目つながりではありませんが、今年は昭和51年卒業の皆様も、社会人デビュー50周年の節目の年でもあります。

そこで、昭和51年建築科卒の同窓会を、卒業後初めて開催することになりました。50年ぶりの再会となります。

日程は、4月18日(土)17時〜ホテル松尾で行います。同級生の皆さん、万障繰り合わせの上ご参加下さい。待つとるけえ〜!!

最後に、関西支部総会は6月6日(土)です。

こちらも万障繰り合わせの上ご参加下さい。待つとるけえ〜!!

益田支部

「今日この頃」

支部長 安 田 徳 太
(建築科 昭和四十一年卒業)



今日この頃、いつも思っています。早いもので



今年ももう1年が過ぎ去るのか？と。原稿依頼が来て、忘年会シーズンが過ぎ正月が来る。また一つ歳を取るのか！と。毎日の営みがこんなにも早く感じ、気が付くと1年があつという間に過ぎ去ると感じるのは私だけでしょうか？

先日その逢っておきたい人に逢う機会が偶然に出来ました。長野県飯田市の現場に行く帰り道、滋賀県長浜市に居る初恋の人に逢う機会が偶然に出来ました。60年ぶりの再会でした。少し腰を曲げ、お互い顔を合わすと気恥ずかしさが共にたち、にっこり笑うのが精一杯でした。午後1時の待合せから夕ご飯を一緒に食べ、8時にタクシーを呼び、お別れまでの7時間があつた。

親しい友達が痴呆症がでたとか、糖尿病がひどくなつて食べ物制限で酒も飲めないとか、私は自分が今までの78年間入院、通院、手術、ケガ、何もない身体に産んでくれた両親に本当に深く感謝しなくてはなりません。仕事もたくさんの人にささえられ、優秀な社員にも巡り会え仕事を任せていただけのたくさんの人にも出会い、今の自分に何を社会に恩返しできることがあるのか、これから残り少ない人生、一生懸命探し実行していきたいと思えます。もちろん自分の創った会社の発展も継続も大事ですが、自分が生きてきた証も何か残して感謝の気持ちや伝えられたら心から思っております。

かに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より支部活動に温かいご理解とご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。さて、母校である江津工業高等学校は、2028年3月をもって現体制を終え、同4月から新たな高校として歩みを始める予定です。江津高校との合併後も新高校は現在の江津工業側となり、校舎は残るものの名称もまだ決定しておらず、地域や学校関係者の間では新しい学校像に向けた準備が進められています。

の会員の皆さまにご参加いただきました。久しぶりに母校の校歌や応援歌を歌い、世代を超えた交流が広がるひとときとなりました。また、簡単なゲームを通して和やかな雰囲気を楽しむことができ、会員同士の絆の大切さを改めて実感いたしました。

私はもう2年すると息子にすべてを譲り、会社の業務から引退しなければなりません。会社の自分の部屋はお願いだからそのままにして、何時来ても座る机を残し、来たい時に来て会社の様子を見るようにしておきたいと思っております。

私の周りの友達が何人も先に旅立っています。私達団魂の世代が日本の発展の礎を築き上げたと自負するのは言い過ぎでしょうか？周りを見渡せばほとんどの人が第一線を離れ、独自の生き方でがんばっているんだと思わずにはいられません。

江工を卒業して初めて就職した名古屋で、何も知らない私に色々教えてくれて完成した四日市、日本生命ビルを初め、手掛けた建物を一度ぜひ訪ねてみたい思いがいっぱい

近年はAI、半導体、量子技術など、最先端の科学・技術分野を支える理工系人材や技術者のニーズがかつてないほど高まっています。その中で、工業教育の基盤を築いてきた江津工業高校のOBとして、私たちも新しい高校が果たす役割に大きな期待を寄せています。技術に対する誇りは、次世代の生徒たちにとって手本となり、新しい学校の教育・育成に自然と貢献できるはずです。

一方で、支部の活動は少しずつ高齢化が進んでおり、参加人数や運営の担い手が限られてきている現状もございませす。これまで先輩方が築き上げてきた支部の歴史と絆を大切にしつつ、今後どのように会社としてつながりを保つていくかを、改めて考える時期に差し掛かっているのではないかと思います。今後の活動の在り方や形を会員の皆さまと共に考えていくことが重要だと感じており、慌てずに、無理のない範囲で会の歴史や絆を守りながら、次世代や地域に貢献できる支部として歩んでいきたいと思えます。

私には引退する前にどうしでもやりたいことがあります。自分が今までに手掛けた仕事をもう一度振り返り、その建物が今どうなっているのか45年間に手掛けた建物を検証して歩くことと、幼いころ一緒に遊んだ友達3人と私の高校の時の初恋の人にどうしても逢っておきたいです。

江工を卒業して初めて就職した名古屋で、何も知らない私に色々教えてくれて完成した四日市、日本生命ビルを初め、手掛けた建物を一度ぜひ訪ねてみたい思いがいっぱい

新春の候、江工会の皆さまにおかれましては、健やかに

昨年7月26日に開催しました浜田支部総会には、約28名の

本年度も皆さまにとつて健やかで穏やかに過ごせる一年となりませすようお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

浜田支部

「浜田支部からの報告」

支部長 隅 井 保 彦

(機械科 昭和五十九年卒業)



新春の候、江工会の皆さまにおかれましては、健やかに

昨年7月26日に開催しました浜田支部総会には、約28名の

本年度も皆さまにとつて健やかで穏やかに過ごせる一年となりませすようお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

同窓会報告

「恩師の「米寿の祝い」と
「喜寿」の同窓会の報告」

池田 隆 司

(電気科 第八期生)



光陰は矢のごとし、昭和43年3月に母校を卒業して

早58年が過ぎました。昨年は開校90周年迎え、江工会記念行事も行われ併せて会員名簿が発行されたところです。私たちは今年数え年で77歳の喜

寿を迎えることから名簿を手掛かりにかりに人生最後の同窓会を計画いたしました。

令和7年7月12日「会館吾妻」で元気な同窓生19名と森脇健臣先生に出席していただき先生の「米寿の祝い」と「喜寿の祝い」兼ねて盛大に開催いたしました。先生にはこれまで還暦の同窓会をはじめ万難を排して出席していただきており感謝に堪えません。同窓生81名の名簿と案内状を整

◆事務局だより◆

令和7年
1月5日12月

◆会報59号発行

1月24日(金)

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現教職員、在校生、同窓会等に配布。

◆新卒者入会式

2月28日(金)

江工会入会式(令和6年度卒業生39名)

土井正人(昭和三十九年工業化学卒)江工会会長より式辞を行いました。

◆江工会理事会・総会

5月10日(土)

会館吾妻において理事会・総会を行いました。令和6年度事業・決算報告、7年度事業・予算審議、開校90周年記念名簿の精算と総括について報告を行いました。また、新

設校の準備、開校90周年記念事業および学校の現況について、榎野哲央(昭和六十二年機械卒)校長より、報告を行いました。

理したところ11名の方が亡くなっておられ、20名の方に案内状が届きませんでした。また、近況報告では、まだ元気で現役として働いている方や体調不良、病氣療養中の方が多数おられ年輪の重さを感じたところです。

同窓会では物故者をしのび黙祷の後、藤田代表幹事(江工会副会長)から森脇先生に感謝の意を込めて記念品を贈呈いたしました。先生から私たちへの謝辞と激励の言葉を頂きました。一番遠くの名古

また、総会の後は懇親会を行い、親交を深めることができました。

◆関東支部総会

2月9日(日)

如水会館において千代延勝彦(昭和四十九年建築卒)支部長をはじめ、30名の出席により、支部総会が開催されました。

総会では、千代延勝彦支部長と来賓の挨拶の後、令和6年度の活動や決算報告、7年度の活動計画や予算についての審議と新役員の紹介が行わ

屋市から出席した森田氏の乾杯の発声の後、祝宴に入りました。各人近況報告しながら卒業後、初めて同窓会に参加された方含め久しぶりに顔を合わせ、昔話に花を咲かせながら和やかで楽しいひと時共有できたことは何よりの喜びでした。還暦の同窓会以来15年ぶりに「大和島根」等の応援歌4曲を歌い校歌を斉唱して同窓会を終えることができました。

れました。

懇親会では、山崎ていじ(山崎禎次・昭和五十一年建築卒)オンステージで、大いに盛り上がりました。

本部より福田稔(昭和五十三年工業化学卒)副会長が出席しました。

◆関西支部総会

6月7日(土)

ホテルヴィスキオ尼崎において中上清之(昭和五十一年建築卒)支部長をはじめ、40名の出席によって開催されました。

総会では、中上清之支部長と来賓の挨拶の後、令和6年度の活動や決算報告、7年度の活動計画や予算についての審議が行われました。

懇親会では、カラオケやビンゴゲーム、山崎ていじオンステージで、大いに盛り上がりしました。

次回、70回の記念となる支部総会は令和8年6月6日(土)に開催。都治神楽社中の公演や山崎ていじオンステージが予定されています。



◇益田支部総会

7月4日(金)

コリアンキッチン&バーテ
アンにおいて安田徳太(昭和
四十一年建築卒)支部長をは
じめ、12名の出席によって開
催され、支部の運営と会費等
について、熱心な意見交換を
行いました。また、懇親会は
和気あいあいとした雰囲気
で親交を深めました。

本部より楨野哲央校長が
出席しました。

◇浜田支部総会

7月27日(土)

鈴蘭別館において隅井保彦
(昭和五十九年機械卒)支部
長をはじめ、28名の出席によ
って開催されました。

総会では、令和6年度の活
動や決算報告が行われ、7年
度の活動計画や予算について
の審議が行われました。また、
役員改選において、6年度の
役員が引き続き7年度の役員
として選出されました。

懇親会では、今年度初めて
参加の会員の紹介、会員の皆
様が持ち寄った品々を賞品と
したじゃんけん大会が実施さ
れ、最後に、応援歌、校歌を

歌い、大いに盛り上がりまし
た。

本部より高月進(昭和
五十五年電気科卒)事務局長
が出席しました。



計 報

令和7年12月23日現在

謹んでお悔やみ申し上げま
す。

令和7年度

旧職員

田 中 政 一

(社会)

昭和57年4月

(昭和60年3月

(R7年月日新聞より)

会 員

森 脇 正 虎

(昭和十七年 木材建築)

(R7年1月28日新聞より)

二 上 定

(昭和二十一年 建築)

(R6年12月26日新聞より)

植 田 昌 彦

(昭和二十八年 木工芸)

(R6年12月28日新聞より)

田 中 邦 雄

(昭和五十七年 電気)

(R7年1月20日新聞より)

畑 岡 重 美

(昭和四十一年 建築)

(R7年4月16日新聞より)

佐々木 廣富美

(昭和四十二年 電気)

(R7年12月10日新聞より)

綿 貫 信 二

(昭和四十二年 機械)

(R7年1月28日新聞より)

長 谷 真 明

(昭和四十五年 機械)

(R7年2月16日新聞より)

井 下 忠 雄

(昭和四十七年 工業化学)

(R7年3月9日新聞より)

佐々木 晋 介

(昭和五十二年 電気)

(R7年4月16日新聞より)

盆子原 司

(昭和五十六年 建築)

(同級生からの情報)

※事務局で把握できた方のみ
掲載しております。

編 集 後 記

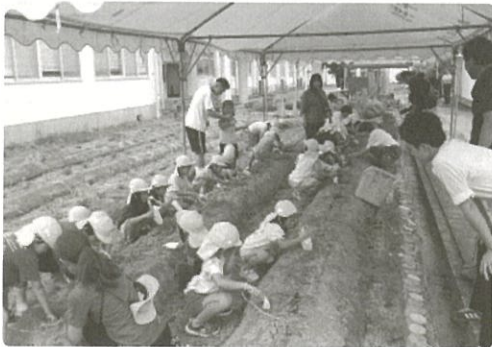
多忙な折り、快くご寄稿い
ただきましたこと、厚くお礼
申し上げます。お蔭さまで第
六十号を発行することができ
ました。

この写真は、土井会長が現
役時代に管理していた畑を私
高月が復活させ、いも畑にし
たものです。「工業高校でさ
つまいも?」って感じですが、

「おいしく焼ける焼いも機の
製作」という課題研究から始
まり、探究していった「どう
せならおいしいさつまいもを
作って、ご近所の園児たちと
交流しよう!」ということ
で、いもほり体験イベントを本校
で開催している様子です。

地元を活性化するために
色々と探究しながら活動し、
情報を発信しています。母校
のインスタグラムのQRコー
ドを記載しておきますので、
ぜひご覧ください。なお、今
後とも会報に対しましてご意
見、情報等(同窓会報告、会
員消息等)がございましたら
事務局へご連絡をお願い致し
ます。

(事務局 高月)



@GOTSU_TECHNICAL
インスタグラム

令和 6 年度 江工会一般会計 決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 繰越金	628,266	0	628,266	628,266	0	前年度繰越金
2 会費・入会金	421,210	0	421,210	430,301	△ 9,091	令和 6 年度卒業生 39 名分 過年度卒業生分 預金利息
3 寄付金	10,000	0	10,000	463,336	△ 453,336	工友会 240336 山口県支部 170000 関東支部 23000 M科 18 期生 20000 関西支部 10000
4 繰入金	0	0	0	0	0	
5 雑収入	34	0	34	13,533	△ 13,499	名簿販売 3 名 預金利息
収入合計	1,059,510	0	1,059,510	1,535,436	△ 475,926	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 工業教育振興会費	10,000	0	10,000	10,000	0	県工業教育振興会への助成
2 会報発行費	170,000	0	170,000	132,110	37,890	会報 59 号 1500 部発行
3 記念品費	50,000	0	50,000	23,400	26,600	卒業生への角筒
4 会館運営費助成	150,000	0	150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	50,000	0	50,000	20,241	29,759	理事会総会案内 会報原稿依頼等
6 旅費	300,000	0	300,000	122,710	177,290	支部総会出席旅費
7 会議費	150,000	0	150,000	33,664	116,336	支部総会への支援 会議用お茶代
8 慶弔費	30,000	0	30,000	0	30,000	
9 雑費	30,000	0	30,000	1,000	29,000	90 周年記念名簿用写真焼き増し料
10 積立金	0	0	0	0	0	
11 予備費	119,510	0	119,510	0	119,510	
支出合計	1,059,510	0	1,059,510	493,125	566,385	

令和 7 年度 江工会一般会計 予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1 繰越金	1,042,311		1,042,311	628,266	414,045	前年度繰越金
2 会費・入会金	475,300		475,300	421,210	54,090	入会金・終身会費 44 名分 × 900 円 × 12 か月 預金利息含む
3 寄付金	10,000		10,000	10,000	0	寄付金
4 繰入金	0		0	0	0	
5 雑収入	89		89	34	55	預金利息
収入合計	1,527,700		1,527,700	1,059,510	468,190	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1 工業教育振興会費	10,000		10,000	10,000	0	県工業教育振興会への助成
2 会報発行費	170,000		170,000	170,000	0	会報 60 号 2000 部発行
3 記念品費	50,000		50,000	50,000	0	卒業生への角筒
4 会館運営費助成	150,000		150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	50,000		50,000	50,000	0	理事会総会案内 会報原稿依頼
6 旅費	300,000		300,000	300,000	0	支部総会出席旅費
7 会議費	150,000		150,000	150,000	0	支部総会への支援
8 慶弔費	30,000		30,000	30,000	0	
9 雑費	30,000		30,000	30,000	0	
10 積立金	400,000		400,000	0	400,000	定期預金へ
11 予備費	187,700		187,700	119,510	68,190	
支出合計	1,527,700		1,527,700	1,059,510	468,190	